

< 担い手への農地集積を目標としている事例 >

認定農業者への集積を目指す

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	秋田県由利本荘市 <small>ゆりほんじょうし</small> 滝 <small>たき</small>			
協 定 面 積 31ha	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稲、転作作物	-	-	-
交 付 金 額 261万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	担当者活動経費		3%
		体制整備に向けた活動費		12%
		水路・農道等維持管理経費		34%
		積立・繰越		1%
協定参加者	農業者22人 水利組合1組合			

2. 集落マスタープランの概要

河川（芋川）の源流部に位置し小集落が点在する滝地区は、小規模農家がほとんどである。そのため、農機具更新等の話し合いを行い、農業機械の共同利用・農作業の共同化を推進するとともに、2名の認定農業者への農作業の受委託により、地域の農業生産活動の継続や農地の保全を図れるよう地域一体で支援する目標を立て、取り組むこととなった。

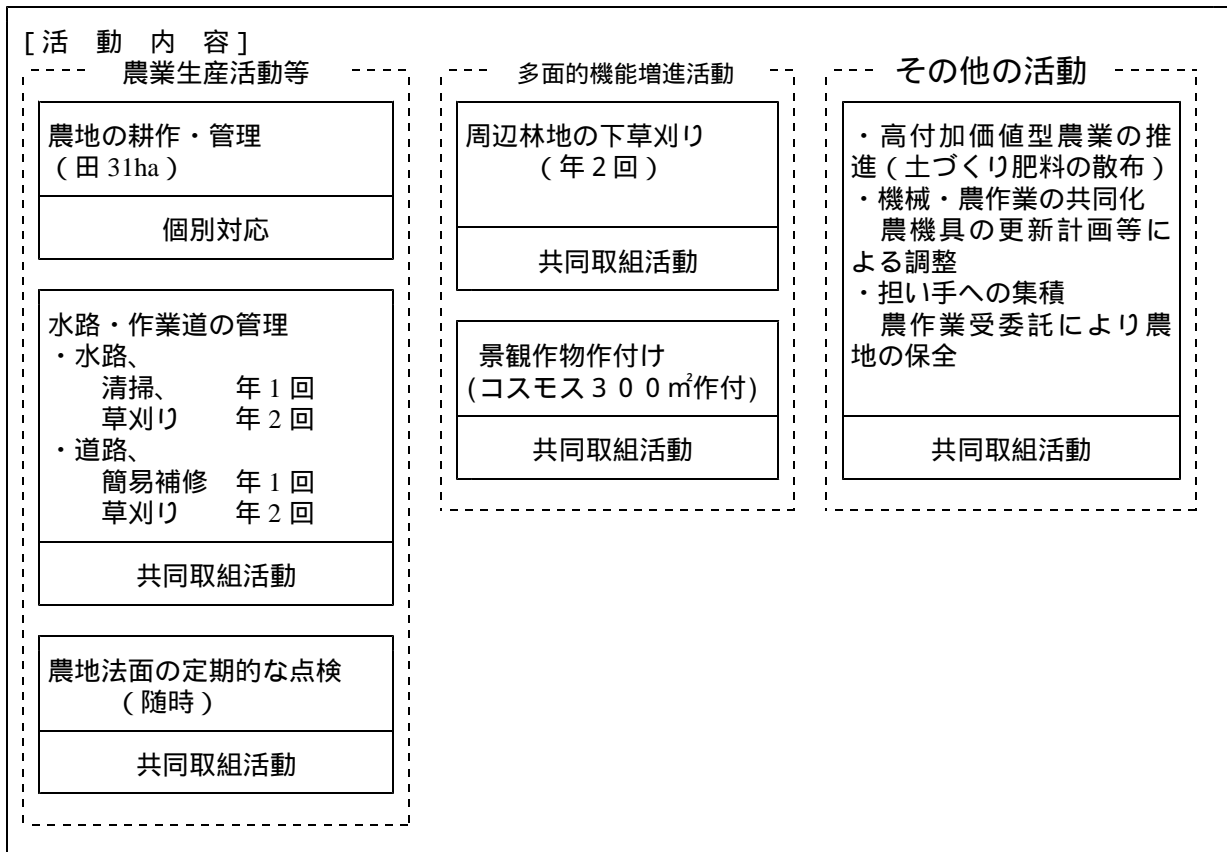
さらに、集落全体で転作対象農地の活用を検討し、団地化や機械の共同等により効率的な農作業を行い農業経営の安定を目指すこととしている。



< 共同による防除作業 >



< 協定農用地 >



3. 取り組むべき事項の活動内容

協定参加者が耐用年数を経過している農業機械を所有していることから、各自から農機具の更新計画を出し合い、農業機械の共同利用や農作業の共同化、さらには農作業受委託を図り、効率的な体制整備を確立することとしている。

また、2名の認定農業者へ農作業受委託により農用地を集積し、地域の農業生産活動の継続や農地の保全を図る。

さらに、当集落や他集落の畜産農家と連携して牧草栽培を計画する等、転作対象農地の有効活用を検討し、農業経営をより一層安定する取り組みを展開する。

[平成21年度まで取り組む目標]

- 周辺林地の草刈り(0.1ha年2回)
- 景観作物作付け(協定農用地内の田にコスモスを300㎡植栽)
- 高付加価値農業の推進(土づくり肥料の散布)
- 機械・農作業の検討・推進
- 担い手への農作業受委託の推進
- 集落外の畜産農家と連携した農用地の有効活用の検討